

研究業績

1. 学会発表：

Sigematsu R, Okura T, Nakagaichi M: A novel stepping test as a screening tool for mild cognitive impairment in older adults. The Gerontological Society of America's 68th Annual Scientific Meeting, USA, 2015. 11.

Yoon J, Kanamori A, Fujii K, Kim M, Yoon JY, Tsuji T, Okura T: Whole-body vibration training improves knee and lower limb function in older adults with knee pain. The Gerontological Society of America's 68th Annual Scientific Meeting, USA, 2015. 11.

Fujii K, Sato A, Kunika S, Jindo T, Kitano N, Tsunoda K, Okura T: Living alone and the risk of long-term care in Japanese older adults. The Gerontological Society of America's 68th Annual Scientific Meeting, USA, 2015. 11.

Kim M, Soma Y, Yoon JY, Yano M, Jindo T, Yoon J, Okura T: Novel tools to assess isometric knee extension strength and mobility limitation in elderly women. The Gerontological Society of America's 68th Annual Scientific Meeting, USA, 2015. 11.

Sato A, Fujii K, Kusuda M, Seol J, Kitano N, Okura T: Effects of a volunteer-managed group activity on physical function in community-dwelling older women. The Gerontological Society of America's 68th Annual Scientific Meeting, USA, 2015. 11.

門間貴史, 武田文, 浅沼徹, 角田憲治, 北濃成樹, 大藏倫博: 地域在住高齢者における運動・スポーツ活動が首尾一貫感覚に及ぼす効果. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎, 2015. 11.

Soma Y, Tsunoda K, Kitano N, Jindo T, Okura T: Correlates to participation of preventive care exercises: a focus on distance to exercise facility and social networks. The 10th IAGG Asia / Oceania Congress of Gerontology and Geriatrics, Thailand, 2015. 10.

Abe T, Tsunoda K, Jindo T, Yano M, Okura T: "Trail Making Peg test" a useful and brief performance test for assessing cognitive function. The 10th IAGG Asia / Oceania Congress of Gerontology and Geriatrics, Thailand, 2015. 10.

Jindo T, Kitano N, Tsunoda K, Tsuji T, Abe T, Hotta K, Okura T: Effects of daily life physical activity on physical fitness changes during an exercise program in Japanese older adults. The 10th IAGG Asia / Oceania Congress of Gerontology and Geriatrics, Thailand, 2015. 10.

Tsunoda K, Soma Y, Jindo T, Tsuji T, Kai Y, Hotta K, Okura T: What distances are older adults willing to travel by walking and bicycling?. The 10th IAGG Asia / Oceania Congress of Gerontology and Geriatrics, Thailand, 2015. 10.

内山朋香, 深山知子, 大藏倫博: 高齢者の転倒経験の有無による体力テストおよび体組成の差の検討. 第2回サルコペニア・フレイル研究会, 東京, 2015. 10.

阿部巧, 相馬樹, 大藏倫博: 高齢者における巧緻性とMCI発症との関連に着目した縦断的検討—かさまスタディー—. 第5回日本認知症予防学会学術集会, 兵庫, 2015. 9.

相馬優樹, 阿部巧, 大藏倫博: 立位姿勢保持課題時の足圧中心動揺パラメータを用いた認知機能の評価に関する検討. 第5回日本認知症予防学会学術集会, 兵庫, 2015. 9.

深山知子, 酒井良雄, 阿部巧, 慎少帥, 辻大士, 池田義雄, 大藏倫博: 下肢の筋力およびバランスの指標とロコチェック該当数との関連性. 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

岡田真平, 井上茂, 笹本和宏, 半田秀一, 深山知子, 阿部巧, 慎少帥, 大藏倫博: 椅子立ち上がり時地面反力と下肢機能評価等との関連. 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

新村由恵, 中垣内真樹, 重松良祐, 大藏倫博, 小森康加, 田中喜代次: 脳トレを意識したスクエアステップエクササイズ介入が高齢者の認知機能および生活関連体力に及ぼす影響. 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

田川要, 赤澤暢彦, 吉川徹, 羅成圭, 棚橋嵩一郎, 熊谷仁, 矢野未来, 金美珍, 尹智暎, 大藏倫博, 鈴木貴視, 小松美穂, 神村彩子, 前田清司: 低体重高齢者における筋力トレーニングとL-シトルリン含有組成物摂取が動脈ステイフネスに及ぼす影響. 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

尹智暎, 矢野未来, 金美珍, 鈴木貴視, 小松美穂, 神村彩子, 大藏倫博: 筋力トレーニングとL-シトルリン高含有組成物摂取が低体重女性高齢者の筋量および筋力に与える影響. 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

尹之恩, 金森彰浩, 藤井啓介, 辻大士, 北濃成樹, 磯田博子, 大藏倫博: マスリン酸の摂取と全身振動トレーニングの併用が膝痛を有する高齢者の下肢機能および膝の腫脹に及ぼす影響. 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

北濃成樹, 藤井悠也, 神藤隆志, 角田憲治, 薛載勳, 堀田和司, 大藏倫博: 高齢者における運動中間の存在と入眠の関連性の検討. 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

藤井啓介, 北濃成樹, 藤井悠也, 佐藤文音, 堀田和司, 大藏倫博: 独居高齢者と非独居高齢者の身体・認知・心理社会機能の比較. 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

藤井悠也, 神藤隆志, 北濃成樹, 藤井啓介, 角田憲治, 大藏倫博: 高齢者の運動実践と抑うつとの関連性 - 運動実践方法および性差

に着目して - . 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

矢野未来, 尹智暎, 藤井啓介, 北濃成樹, 大藏倫博: やせ型および過体重の高齢者における身体機能に関する検討. 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

佐藤文音, 國香想子, 北濃成樹, 藤井啓介, 薛載勳, 大藏倫博: 中高年齢者における運動サークルへの所属期間と抑うつ度および情緒的サポートとの関連性. 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

薛載勳, 北濃成樹, 相馬優樹, 神藤隆志, 佐藤文音, 阿部巧, 大藏倫博: 地域在住高齢者の日常生活における身体活動量の日間変動と身体機能との関連性. 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

阿部巧, 深山知子, 酒井良雄, 辻大士, 慎少帥, 大藏倫博: 高齢者の椅子立ち上がり動作から評価したバランス能力と身体機能との関連性. 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015. 9.

Tsunoda K, Soma Y, Kitano N, Abe T, Jindo T, Kai Y, Hotta K, Okura T: Environmental correlates of cognitive functions in older Japanese adults. The 9th International Congress of the Asian Society Against Dementia (ASAD), Japan, 2015. 9.

Abe T, Tsunoda K, Kitano N, Yoon JY, Soma Y, Yoon J, Kim M, Okura T: Estimation of cognitive function by dexterity performance tests in older adults. The 9th International Congress of the Asian Society Against Dementia (ASAD), Japan, 2015. 9.

大藏倫博: 転倒予防と認知機能向上の運動としてのスクエアステップエクササイズ. シンポジウム—要介護防止のための実践的運動療法. 第34回日本臨床運動療法学会学術大会シンポジウム, 仙台, 2015. 9.

大藏倫博: 基調講演—歩く脳トレ運動“スクエアステップ”の効果とその影響因子. 第1回スクエアステップ研究フォーラム, つくば, 2015. 8.

重松良祐, 大藏倫博, 中垣内真樹, 中田由夫: 高齢者に認知機能向上の必要性を気づかせる運動課題. 日本体育学会第66回大会, 東京, 2015. 8.

北濃成樹, 角田憲治, 堀田和司, 藤井啓介, 神藤隆志, 佐藤文音, 大藏倫博: 高齢者におけるスクリーンタイムは身体活動と独立して不良な睡眠と関連するか. 第18回日本運動疫学会学術集会, 愛知, 2015. 6.

藤井啓介, 佐藤文音, 神藤隆志, 北濃成樹, 大藏倫博: 脳卒中発症後の高齢者における地域活動への参加状況と抑うつとの関連. 第49回日本作業療法学会, 兵庫, 2015. 6.

Yoon J, Kanamori A, Fujii K, Seol J, Tanaka K, Okura T: The comparison of knee-function and the Physical-performance evaluation index according to different pain intensity level. The 62th Annual Meeting of American College of Sports Medicine, USA, 2015. 5.

阿部巧, 相馬優樹, 楠田美嬉子, 城實佳也, 大藏倫博: 認知症予防を目的とした介護予防教室プログラムの効果の包括的検討: かさまスタディー—認知機能および心理社会機能の視点から—. 第16回日本認知症ケア学会, 北海道, 2015. 5.

國香想子, 阿部巧, 北濃成樹, 神藤隆志, 大藏倫博: 介護予防運動教室に参加する男性高齢者の意識調査—男性限定の運動教室参加者と一般男性高齢者との比較—. 第16回日本健康支援学会年次学術集会, 福岡, 2015. 3.

相馬優樹, 神藤隆志, 角田憲治, 大藏倫博: 地域における介護予防運動の認知に及ぼす社会交流状況と活動拠点までの距離の影響—茨城県笠間市における悉皆調査の事例より—. 第16回日本健康支援学会年次学術集会, 福岡, 2015. 3.

尹之恩, 辻大士, 藤井啓介, 大藏倫博: 自宅での筋力トレーニングと専門家による集団指導を組み合わせた運動プログラムが膝痛を有する高齢者の膝及び身体機能に与える効果. 第16回日本健康支援学会年次学術集会, 福岡, 2015. 3.

北濃成樹, 角田憲治, 金美珍, 相馬優樹, 大藏倫博: 高齢者の身体機能と筋量, 認知機能との関連性に関する加齢の影響. 日本体育測定評価学会第14回大会兼測定評価研究50周年記念大会, 石川, 2015. 3.

阿部巧, 北濃成樹, 大藏倫博: ロコモティブシンドロームと関連する身体機能の検討. 日本体育測定評価学会第14回大会兼測定評価研究50周年記念大会, 石川, 2015. 3.

大藏倫博: 日本における介護予防の運動介入研究—認知機能—. 身体活動の科学の再構築に関するシンポジウム. 第6回公開講演会, 東京, 2015. 2.

2. 学術論文 (原著論文, 総説, 研究資料, 実践研究等)

相馬優樹, 角田憲治, 北濃成樹, 神藤隆志, 大藏倫博: 介護予防運動の認知と関連する要因の検討—活動拠点までの物理的距離と社会交流状況に着目して. 日本公衆衛生雑誌, 62(11): 651-661, 2015.

Monma T, Takeda F, Tsunoda K, Kitano N, Hotoge S, Asanuma T, Okura T: Age and Gender Differences in Relationships between Physical Activity and Sense of Coherence in Community-dwelling Older Adults. Japanese Journal of Health and Human Ecology, 81(5): 159-169, 2015.

藤井啓介, 神藤隆志, 相馬優樹, 北濃成樹, 角田憲治, 大藏倫博: 地域在住高齢者の歯の状態と身体機能および転倒経験との関連性. 厚生指標, 62: 9-14, 2015.

Saghazadeh M, Kitano N, Okura T: Gender differences of foot characteristics in older Japanese adults using a 3D foot scanner. Journal of Foot and Ankle Research, 8: 29, 2015.

Tsuji T, Tsunoda K, Mitsuishi Y, Okura T: Ground reaction force in sit-to-stand movement reflects lower limb muscle strength and power in community-dwelling older adults. International Journal of Gerontology, 9: 111-118, 2015.

Tsunoda K, Kitano N, Kai Y, Uchida K, Kuchiki T, Okura T, Nagamatsu T: Prospective study of physical activity and sleep in middle-aged and older adults. American Journal of Preventive Medicine, 48(6): 662-773, 2015.

辻大士, 深山知子, 鈴木玲子, 大藏倫博: 宮城県石巻市“大橋メンズクラブ”における, 体組成, 下肢筋機能, 歩数評価を活用した活動支援. 保健師ジャーナル, 71: 410-418, 2015.

Tsunoda K, Kai Y, Kitano N, Uchida K, Kuchiki T, Okura T, Nagamatsu T: Domains of physical activity and self-reported health. Bulletin of the Physical fitness Research Institute, 113: 9-14, 2015.

大藏倫博: 認知機能障害の予防・改善. 特集—健康長寿の実現を目指した身体機能障害の予防・改善. 体育の科学, 65: 198-203, 2015.

大藏倫博, 尹智暎: 高齢者の認知機能を評価する新パフォーマンステスト“トレイルメイキングペグテスト”の提案. 体育測定評価研究. 体育測定評価研究, 14: 59-68, 2015.

阿部巧, 神藤隆志, 相馬優樹, 角田憲治, 北濃成樹, 尹智暎, 大藏倫博: パフォーマンステストを用いた認知機能評価法“Trail Making Peg test”の妥当性と信頼性の検討. 日本老年医学会雑誌, 52: 71-78, 2015.

3. **その他論文 (報告書等)**: 学術論文と同様に入力する.

なし

4. **専門家、学生向け著書 (事典, 翻訳書等を含む)**

大藏倫博: サルコペニアに対する運動療法のあり方. (編) 荒井秀典. サルコペニアとフレイル—医療職間連携による多角的アプローチ. 医薬ジャーナル, 158-165, 2015.

5. **受賞**

「ロコモティブシンドロームと関連する身体機能の検討」. 日本測定評価学会第14回大会 兼 測定評価研究50周年記念大会 優秀発表 受賞, 2015. 3.

「高齢者における巧緻性とMCI発症との関連に着目した縦断的検討—かさまスタディー」. 第5回日本認知症予防学会学術集会 浦上賞 受賞, 2015. 9.

6. **公的機関あるいは企業等との共同研究、委託研究、これらからの研究助成、奨励金等 (科研費を除く)**

「食と健康の達人拠点」(文部科学省 COI STREAM)

「世界初の卓越した健康度評価・改善システムを内蔵する体重計開発」(産学連携推進プロジェクト共同研究・株式会社タニタ)

「身体・認知機能を総合評価するための機器の開発」(株式会社 THF)

「軽度要介護高齢者の身体・認知機能改善プログラム及びその評価法の開発」(株式会社元気広場)

教育活動

1. **受賞**

なし

2. **一般向け著書等 (翻訳書等を含む)**

なし

3. **一般向け教室、講演、マスコミ出演等**

「スクエアステップで頭と体のパワーアップ (茨城県民大学講座・桜川市)」(1月9日)

「日本における介護予防の運動介入研究 (九州大学リサーチコア)」(2月7日)

「高齢者の転倒予防と認知機能賦活を企図したスクエアステップの理論と実技 (平成26年度ブルーシー・アンド・グリーンランド財団レベルアップ研修会)」(2月27日)

「楽しい運動による高齢者の健康づくりと生きがい支援 (平成27年度いなしき大学)」(6月9日)

「体力を学んで健康づくり (平成27年度第1回千葉県健康づくり県民講座)」(6月28日)

「スクエアステップで頭と体のパワーアップ (茨城県民大学講座・下妻市)」(7月9日)

「歩く脳トレ運動で心と体のリフレッシュ (神奈川県パーキンソン病友の会)」(7月25日)

「運動と健康長寿を目指したまちづくり (千葉大学・竹中工務店共同研究ステーキホルダーコミュニケーション)」(9月7日)

「健康に自信がない人が元気になるために (東京大学高齢者総合研究機構)」(10月9日)

「認知機能と活動能力の向上をもたらす楽しい運動の実践（筑波大学重点公開講座）」（10月31日）

「楽しい運動による高齢者の健康づくりと生きがい支援（平成27年度南相馬市成人大学）」（11月19日）

「住民同士の健康づくり支援活動で個人と地域社会を元気にする（流山市コミュニティリーダー研修会）」（12月13日）

「住民同士の介護予防活動で地域を元気に（燕市社会福祉協議会）」（12月17日）

競技活動

なし

社会貢献活動

a. 公共機関あるいは私企業等の委員、役員（平成27年度だけでなく、それ以前からの継続中のものも含む）

日本体育測定評価学会常任理事（平成24年～）

日本健康支援学会理事（平成25年～）

NPO法人スクエアステップ協会理事長（平成18年～）

株式会社THF取締役（平成17年～）

筑波大学社会貢献プロジェクト 代表者（平成25年～）

茨城県笠間市地域クラウドモデル推進協議会 委員（平成25年～）

茨城県笠間市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定 委員長（平成26年～）

茨城県笠間市地域密着型介護サービス事業者選定委員会（平成27年～）

b. ボランティア活動

なし

c. 競技会引率・帯同等（部活顧問としての活動は除く）

なし

公共機関、企業等からの委託業務（「研究業績の6」以外のもの）

なし